

ドッジボール大会 ルール

- ・ 試合開始と終了後は1列に並んで審判の指示に従うこと。
- ・ 首から上にボールが当たった場合はアウトにならない。
- ・ 相手のノーバウンドの投球を取れなかったり、当たった場合にアウト（外野）になる。
- ・ 相手のノーバウンドの投球で2名以上が連続して当たった場合は、最初に当たった1名がアウトになる。
- ・ 1度味方に当たったボールを、ノーバウンドでとった場合は、その当たった選手はセーフとする。
- ・ 試合開始時の外野は1名とし、チーム内で話し合って決める。
- ・ 試合開始時に外野となった選手は、相手チームの選手をアウトにした時のみ自チームの内野に戻ることができるが、外野の人数が0人になってしまう場合は内野に戻れない。ただし、その後外野が2名になった場合は相手チームの選手をもう一度アウトにした場合のみ、自チーム内野に戻ることができる。
- ・ 試合中、外野の選手が相手内野チームの選手をアウトにした時は内野に戻ることができるが、外野の人数が0人になってしまうときは戻れない。その後外野が2名になった場合は相手チームの選手をもう一度アウトにした場合のみ、自チーム内野に戻ることができる。
- ・ 相手コートに転がっているボールを自チームのコート内にかき寄せた場合は相手ボールになる。
- ・ 今大会は、子どもたちの意見を尊重するため、試合に関する事で保護者よりの申し入れは一切認めない。但し、休憩時間や試合の進捗業況に関する事は回答する。
- ・ 1試合5分で行い試合終了時の内野の人数で勝敗を決める。
- ・ 保護者単独チームの出場を認めるがオープン参加扱いとする。
- ・ 1チーム10人でチーム編成をするが、10人以下のチームと対戦する場合は少ない方に人数を併せて試合を進める。その際もチーム内で話し合いを行い出場選手を決める。

- ・試合中は、内野同士のパスは認めない。
- ・外野同士のパスは認める。(外野はサイドラインからの攻撃も認める)
- ・試合中に相手チームに対して暴言や挑発を絶対に行わない。
- ・内外野問わず、ラインを踏んだり、超えてのスローは相手ボールとする。
(万が一アウトになった場合はノーカウントとし試合を再開する)
- ・参加者全員で楽しくドッジボールを行うこと。
- ・コートの大きさは、6人制バレーボールコートの大きさとし、大会当日は白のラインテープでコートを作成する。
- ・試合中の抗議はキャプテンのみが行える。他の選手、保護者からの抗議は一切認めない。
- ・大会に係る疑問点はスポーツ少年団本部長に相談する。
- ・楽しみすぎてけがをしないこと。
- ・ゴミは各自で持ち帰ること。
- ・片付けはみんなで協力してやること。
- ・動画撮影は一切認めない。写真については、自チームの選手のみ撮影は認めるが、SNS等への掲載は認めない。
- ・試合終了時、内野の数が同数の場合は、残った内野でじゃんけんを行い勝ちの多いチームを勝利チームとする。
- ・試合中の選手の入れ替えは一切認めない。
- ・ルールを守らない場合は周りの大人が怒る。
- ・ケガ等で試合が止まった場合は試合時間を止めて処置を行い、終了後試合を再開する。
- ・保護者チーム(1~3年生の部)は投げるとき、聞き手の使用を禁止する。4~6年生の部は試合開始前に子供たちに本気で投げていいか相談する。